

# 町と村のつながり



駅前履物店



お盆の市



大根市



飛鳥の歳の市



観音寺の歳の市



松嶺・片町の歳の市



たくさんの方の人をのせた渡船



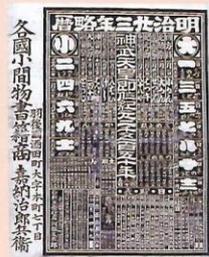
魚をさばく魚売り



列車で近くの町や村を廻る行商  
「羽越本線90年」より

## 宣伝・広告

【引札】 引札は、「ちらし広告」の一種である。初期のものは、単一色刷りが多かったが、江戸の後期から明治初期にかけて、彩色豊かな錦絵風の「引き札」や「絵びら」も作られた。年始代わりや開店祝い、安売りなどの際に得意先に配った。



小間物・書籍商  
富納治郎兵衛



米商仲買  
荒木条太郎

### 引札



荒物商 小林興七



木綿糸製造 田中商店



雑誌「てぶくろ」  
酒田市光丘文庫蔵



北海道物産・食塩紡績糸商  
堀助右衛門



食塩醸商  
尾間太四郎



清酒販賣 菅原商店



銘酒醸造元 田中伊兵衛



海産物商 種田為治郎



和洋小間物商 斎藤又吉



清水屋の広告  
鶴岡市鶴土資料館蔵



商品券

第143回  
企画展示

# 酒田の商業点描

～明治・大正・昭和～

開催期間◆平成18年9月14日(木)～11月19日(日)

(期間中無休)

開館時間◆午前9時～午後4時30分

入館料◆一般 100円

児童・生徒・学生 50円

(小・中学生 土日無料)



錦絵 越前屋店頭図 (明治)



大広告塔 (大正)

酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号 TEL・FAX 0234(24)6544

# 《開催にあたって》

酒田は、江戸時代から進取の気風をもった日本海を代表する湊町、商人の町として発展し、近代に入っても明治・大正・昭和と大きな賑わいをみせてきました。しかし、近年、酒田も、大型店の郊外進出などにより中心市街地の空洞化が進み、かつてのような賑わいが薄れています。その一方で、中心街の活性化を図るいろいろな取り組みもみられます。

本企画展では、酒田で編集・発行した『日本全国商工人名録』（明治25年初版）や錦絵、写真、引札、看板、新聞広告、地図、商いの諸道具などを通して、明治から昭和にかけて賑わった酒田の商店街の様子や商売繁盛への意気込みのほか、市街地と近郊近在の集落と結び付いたお盆の市や大根市、歳市の市などについても紹介します。

「酒田の商業点描」展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関、各位ならびにご協力くださいました多くの方々へ心からお礼申し上げます。

## 酒田市立資料館

### ◎資料提供及び協力者

- 越嶋 啓一氏
- 久村商店
- 酒田市光丘文庫
- 酒田商工会議所
- 佐藤 尚氏
- 長南 寿一氏
- 鶴岡市郷土資料館
- ふとんの池田



日本全国商工人名録全1  
酒田市光丘文庫蔵



ひょうたん秤  
(携帯用)



両羽朝日新聞(昭和6年1月~5月)  
酒田市光丘文庫蔵



日本全国商工人名録 秋田・山形版

個人蔵											
漆器指物	米穀商	海産物商	酒造業	薬種商	洋物小問物	印刷業	産物雑貨	米穀仲買	呉服太物	商店名	数
5	4	5	5	5	6	6	6	7	9	数	数
		菓子商	煙草商	肥料商	回船問屋	綿延業	書織商	写真業	染物業	商店名	数
	3	3	3	3	3	4	4	4	4	数	数

「酒田商工会議所創立100周年記念誌」より



そろばん



酒田商業日報  
酒田市光丘文庫蔵



酒田筆工所  
栄甲堂撰煙  
山口半筆専用墨  
個人蔵



蜂蜜時計店開業広告  
(明治35年)  
酒田市光丘文庫蔵

# 写真でみる商店・商店街の移りかわり



伊庭屋(明治末)



木村屋分舗(明治末)



傳兵衛薬店(明治末)



美人餅屋(大正初)



大正館(大正初)



浜町通り(大正)



ふとんの池田(昭和初)  
ふとんの池田蔵



浜町街灯竣工記念(昭和33年)



山王祭の桶屋町と大工町商店街(昭和初)



大工町商店街(昭和初)



傳馬町(昭和初)



中町商店街(昭和30年代)

# 商店の象徴 看板・半纏



小野長商店



龜樂小野屋



伊藤米店



燕屋(染物屋)



大正時代に使われた  
犬貝芳林堂の看板



祥鶴堂(表具) 佐高茜舟筆



小倉漆塗店



菱五(白崎五衛門)



越嶋商店  
個人蔵



佐藤業舗



堀助回漕合資会社



久村商店  
個人蔵



小野九兵衛染物屋  
酒田山王祭山車曳長着